

9月定例会

一般質問

15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは、議員が、高山市政全般にわたり、事務の執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質し、あるいは報告、説明を求めたり、疑問を質すものです。

平和都市
高山市であるために

高山市政クラブ
石原正裕



問

観光都市として、世界中からお客様をお迎えする高山市。高山祭や東京オリンピック聖火リレーも控える中、懸念されるのはテロ攻撃特殊テロ（核・生物・化学物等）災害の事案が発生した際、どう初動対応をとるのか。

答

災害情報の収集と分析を行い、避難誘導など二次災害の防止措置を行うほか、消防は化学防護服や各種資器材を備え、警察・病院と連携して対応するが、事態によって県警察機動隊や緊急消防援助隊（NBC災害即応部隊）等の応援要請を行う。



市民生活を保障する
地域公共交通網の充実

高山市政クラブ
西本泰輝



問

地域公共交通網形成計画等の見直しの年度であり、高齢者などの買物・通院や高校生の通学等の交通手段を確保するため、のらマイカーのエリア拡大やダイヤ見直しを行うべきではないか。また、気兼ねなくデマンドタクシーを利用できるよう改善策は考えられないか。

答

社会情勢や生活環境の変化も生じており、運行路線やダイヤ、停留所など公共交通のさまざまな点について、検証や見直しを検討する必要があると考えている。デマンドタクシーは、利用者の声を聴いて柔軟に対応し、情報通信技術の活用など改善に向け検討したい。



猟友会の現状と
新射撃場の役割について

高山市政クラブ
中谷省悟



問

猟友会員減少による有害鳥獣捕獲隊員確保が心配され、獣害が多くなるのでは。また、市民の安心・安全な暮らしは大丈夫か。その中で新射撃場の役割は大きいと考えるが、今後の管理運営体制は。

答

猟友会員は現在283名。平成24年から捕獲隊員増加を促進し、わな・銃免許取得者は新たに111人確保できた。更に今年度より銃免許を取得する場合、上限50万円を支援することとした。設備の整った新しい射撃場で会員確保と市民の安心・安全を支援していく。

